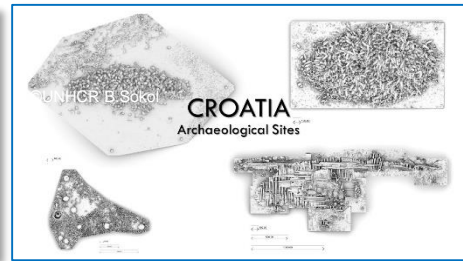
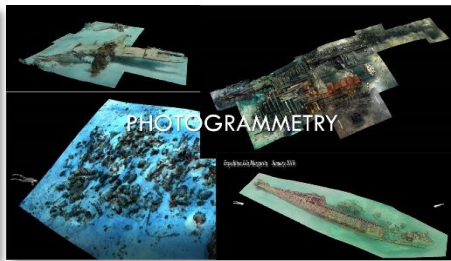


多視点ステレオ写真測量と考古学・地形学 (Photogrammetry Workshop on Archeology and Geomorphology)

2019.2.12 (火) ~ 15 (金) 【10:30~18:10】

I. 多視点ステレオ写真測量と考古学・地形学 (概論)	2.12(火)
II. VTRを利用した写真測量・遺物の写真測量	2.13(水)
III. 考古遺跡における写真測量 (陸上・水中)	2.14(木)
IV. 実用方法に関する応用実習 (実測図の作成など)	2.15(金)

※IIの受講にはIの履修, IIIの受講にはI・IIの履修, IVの受講にはI・II・IIIの受講が必要



講師：山松 晃太郎 (Texas A&M University)

場所：共進化社会システムイノベーション施設 2階大会議室(203)

多視点ステレオ写真測量は、撮影した多数の画像からカメラの位置や姿勢をソフトウェアで割り出し、対象物を三次元的に復元する、最近著しく発達した技術である。

本授業では、多視点ステレオ写真測量の基礎から応用までを解説するとともに、実習を通して実用に資することができる技術の習得を目標とする。



問合せ：九州大学 浅海底フロンティア研究センター
seafloor@scs.kyushu-u.ac.jp

RESEARCH CENTER FOR

Coastal Seafloor

KYUSHU UNIVERSITY



九州大学大学院 地球社会統合科学府